

## 2. 新しい取組みへの挑戦

---

---

- 自動車の低公害化・低燃費化など、  
環境対策に資する技術開発への  
積極的な取組み

## **自動車の低公害化・低燃費化など、環境対策に資する技術開発への積極的な取り組み**

- 沿道の大気環境の改善のためには、主要な発生源であるディーゼル貨物車の低公害化が最も効果的。
- 地球温暖化対策としては、自家用乗用車の低燃費化とともに、ネットワーク整備・ITSのシステム化・TDMなどが必要。
- 道路行政は、低公害車や低燃費車の技術開発など、環境対策に資する技術開発に積極的に取り組むべき。

## 2. 新しい取組みへの挑戦

---

---

### 本格的な自動車交通量の抑制 (TDM)

「TDM」の名称を、自動車利用者の自覚を喚起し、責任の共有ができるような名称に変更すべき。

有料道路の料金体系を見直すべき。

多様な料金政策のためには、

特にETCの普及が重要なポイント。

自動車交通量の抑制に、

自動車利用者とともに計画的に取り組むべき。

## 本格的な自動車交通量の抑制（TDM）

- ネットワーク整備による渋滞対策だけでなく、自動車交通量の抑制（TDM）にも本格的に取り組むべき。

「TDM」の名称を、自動車利用者を自覚を喚起し、責任の共有ができるような名称に変更するべき。

有料道路の料金体系を見直すべき。

- ・ 有料道路制度では、環境負荷最小、渋滞時間最小化等の多様な料金政策が可能
- ・ 多様な料金政策のために、ETCの普及は極めて重要

自動車交通量の抑制に、自動車利用者とともに計画的に取り組むべき。

# 交通量の調整手法の概念図

## 需要サイドを調整する手法(TDM)

相乗り又はシャトルバス  
パークアンド&ライド  
大量公共交通機関の利用促進  
物資の共同集配  
フレックスタイム  
時差出勤  
ロードプライシング

相乗り車優先レーンの整備

パーク&ライド用駐車場等の整備

共同集配センターの整備

道路ネットワークの整備

ボトルネック対策

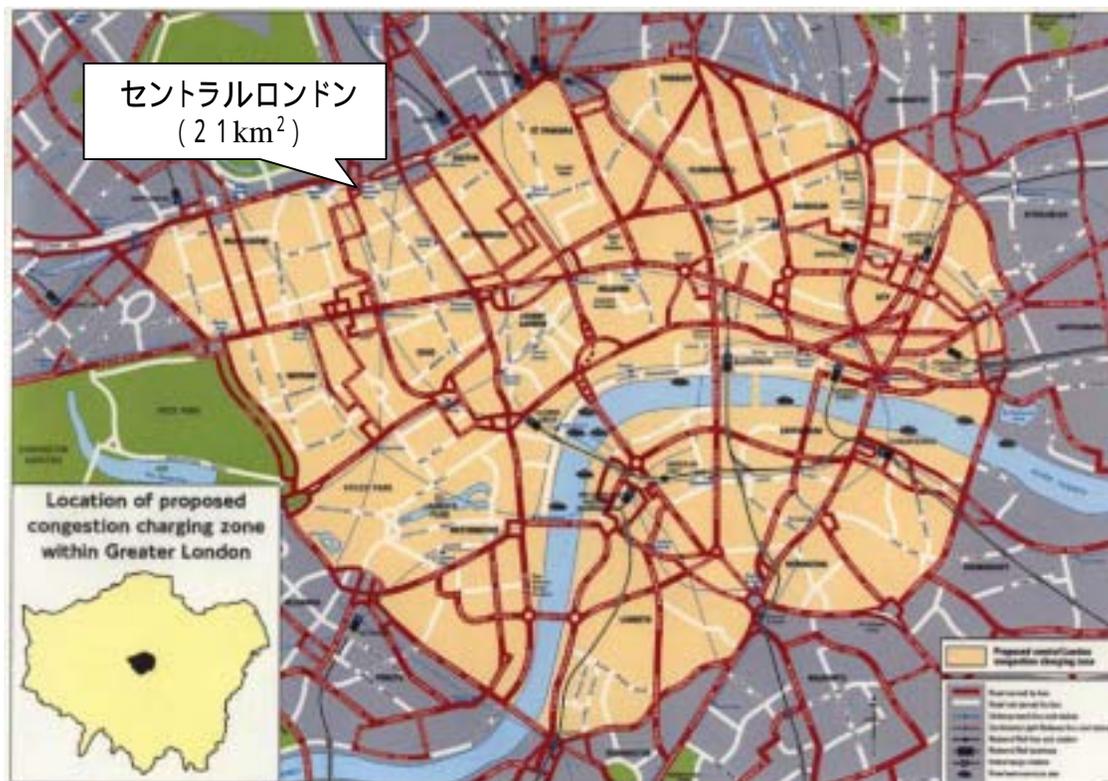
幅員の確保

## 供給サイドを調整する手法

# ロンドンのロードプライシング

「ロンドン市長の交通戦略」より

課金	全車一律 5ポンド (約900円/日)
時間	平日7:00 ~ 18:30



( 2003年2月より  
実施予定 )

# 東京都のロードプライシング(効果試算)

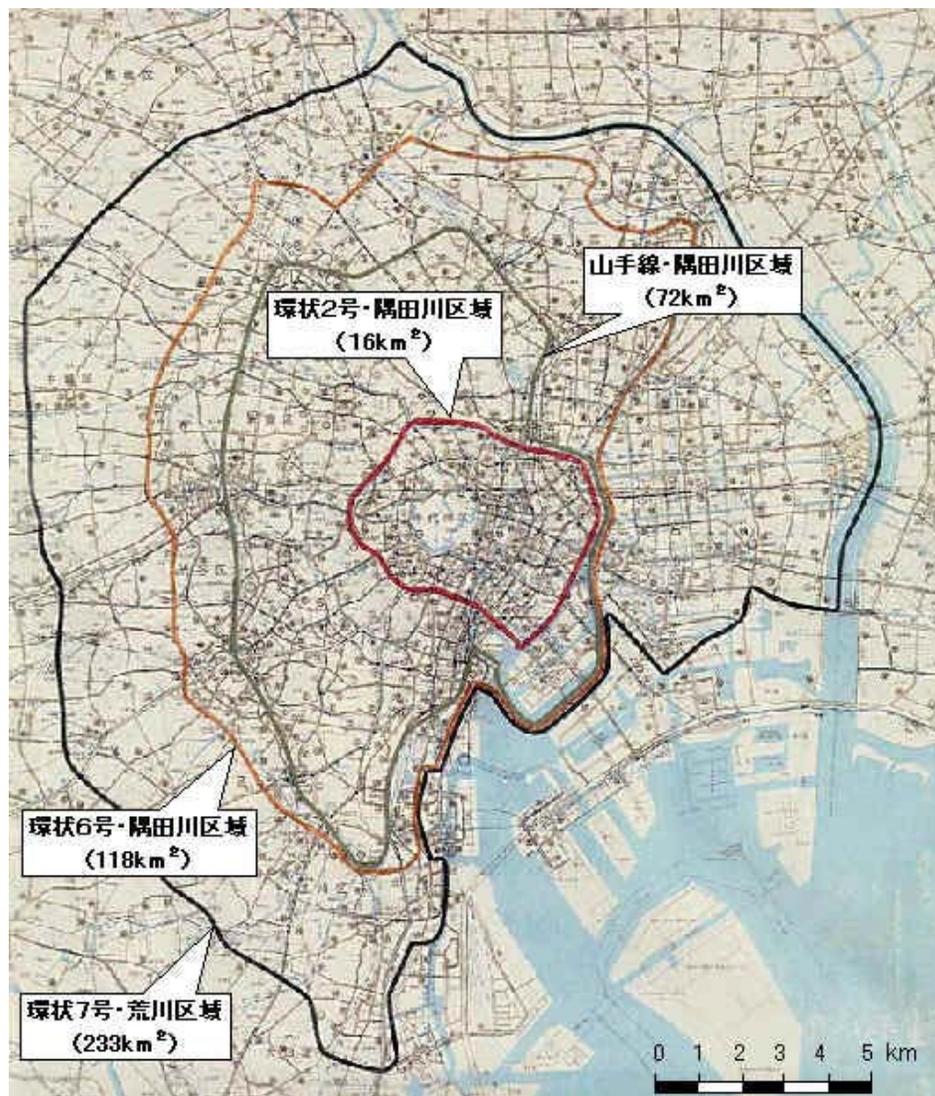
「東京都ロードプライシング  
検討委員会」報告書より

試算条件(料金)

: 小型車 500円

: 大型車 1000円

	削減量 (区部幹線)
NO <sub>x</sub>	130 ~ 470t
SPM	14 ~ 46t
CO <sub>2</sub>	15,800 ~ 48,800t



# 自転車利用の促進

自転車と一緒に電車に乗る(ドイツ)



# 宇都宮市の時差通勤

実験期間:

平成11年11月15日～  
11月17日 3日間

方法:

始業時刻を概ね1時間遅らせる

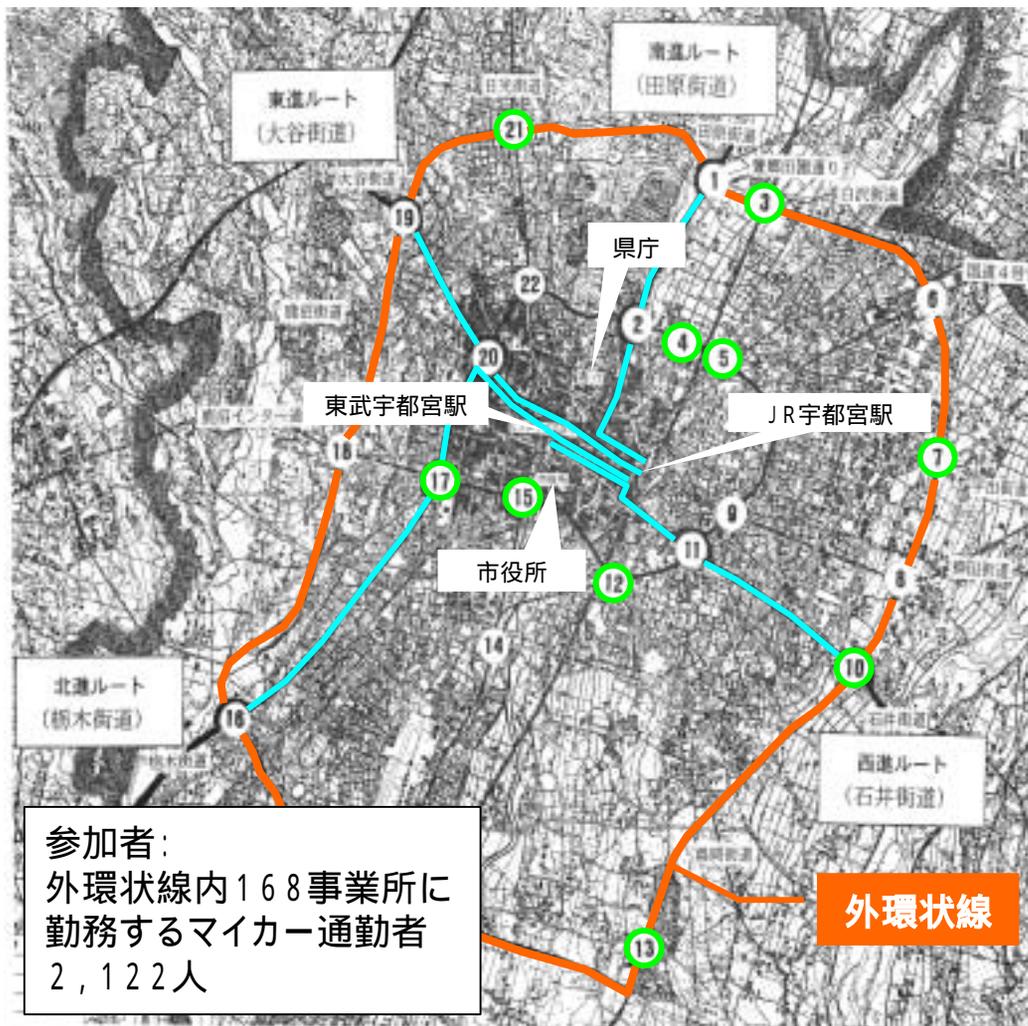
## 実験結果

渋滞長

10交差点で  
2割以上減少

路線バス  
所要時間

最大5分  
短縮



○: 渋滞長が2割以上減少した交差点

# 丸の内地区物流TDM (実証実験)

2002年2月1日(金)~2月28日(木) ※土・日・祝日を除く

参加企業：  
運送事業者19社

共同輸配送による  
物流効率化  
CNG車導入による  
環境対策  
路上駐車抑制

